

款	衛生費	項	保健衛生費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	医療体制強化事業							
施策の大綱	保健・福祉サービスの充実した、人々のあたたかいふれあいのあるまちづくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
28,000				28,000	・ 寄付金 28,000			

【事業の目的】

医師不足等の医療課題に対する取組として設置している寄附講座を拡充し、地域医療の更なる充実を図ります。

【事業の概要】

筑波大学から派遣されている教員を2人増員し、寄附講座の活動拠点である「筑波大学附属病院土浦市地域臨床教育ステーション」を「同センター」にすることで、本寄附講座の機能強化を図ります。

寄附講座の名称	土浦市地域医療教育学講座
寄附の相手方	国立大学法人 筑波大学
寄附講座の設置期間	5年間 平成24～28年度
教育・研究拠点施設	独立行政法人 国立病院機構 霞ヶ浦医療センター内
	平成24～26年度 筑波大学附属病院土浦市地域臨床教育ステーション
	平成27～28年度 筑波大学附属病院土浦市地域臨床教育センター
配置教員	平成24～26年度 3人
	平成27～28年度 5人

寄付金額 (単位：千円)

年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
金額	42,000	42,000	42,000	70,000	70,000

【期待される効果】

本寄附講座の機能強化を図り、地域医療の更なる充実に資することにより、市民が安心・安全に暮らせる環境を創ります。

款	衛生費	項	清掃費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	プラスチック製容器包装分別収集事業							
施策の大綱	人と環境にやさしい循環型社会づくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
63,944				63,944	・委託料		61,644	
					・需用費		2,300	

【事業の目的】

第2次土浦市ごみ処理基本計画の目標達成に向けた取組として、現在の可燃ごみの中から、プラスチック製容器包装を分別収集し、更なるごみの減量化及びリサイクルを推進します。

【事業の概要】

モデル地区の排出方法及び収集体制の検証結果を踏まえ、プラスチック製容器包装分別収集を平成27年度から市内全域で実施します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	圧縮保管委託料	20,447
	再商品化委託料	279
	収集運搬委託料（土浦地区）※	40,918
需用費	広報啓発冊子	2,300
合計		63,944

※土浦地区の収集運搬委託料は、可燃・生ごみ・プラスチック製容器包装分別収集を併せて長期継続契約(5年)で契約済みです。

5年間総額 2,058,242,400円

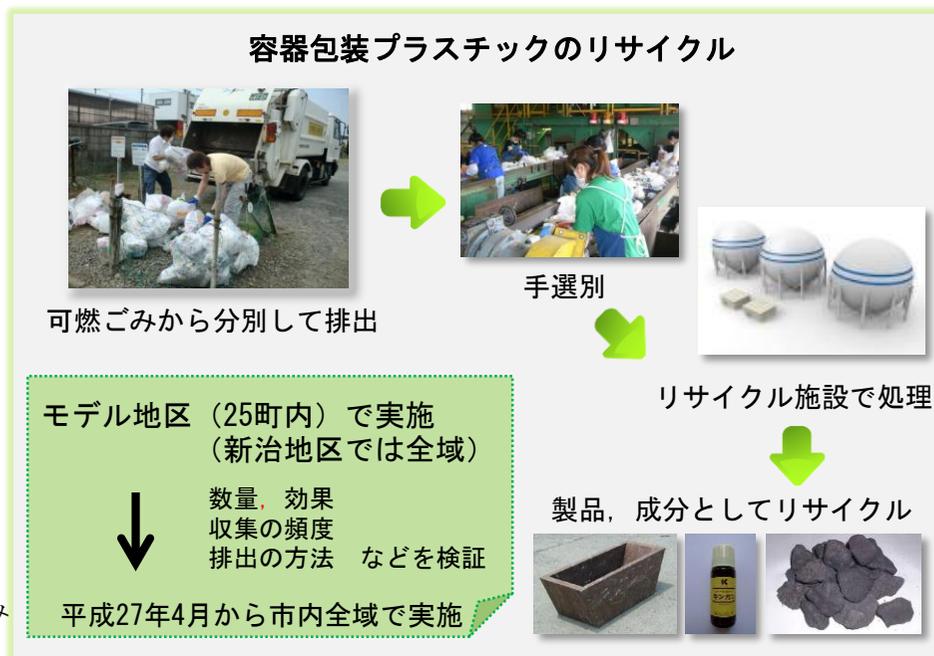
→ 年間 411,648,480円

うち、容プラ分 40,917,859円

新治地区は、従来から新治広域環境クリーンセンターに収集運搬しています。

【期待される効果】

プラスチック製容器包装分別収集の実施拡大により、更なるごみの減量化及び再資源化並びに温室効果ガスの削減が図られます。



款	衛生費	項	清掃費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
---	-----	---	-----	------	----	----	----	---------

事業名	生ごみ分別収集事業				
施策の大綱	人と環境にやさしい循環型社会づくり				
予算額	財源内訳				予算の概要
	国県支出金	地方債	その他	一般財源	
297,603				297,603	・委託料 292,712 ・需用費 4,891

【事業の目的】

第2次土浦市ごみ処理基本計画の目標達成に向けた取組として、現在の可燃ごみの中から生ごみを分別収集し、更なるごみの減量化及びリサイクルを推進します。また、バイオマスタウン構想に基づき、生ごみを資源物として利活用します。

【事業の概要】

モデル地区の排出方法及び収集体制の検証結果を踏まえ、生ごみ分別収集を平成27年度から市内全域で実施します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	処理委託料	123,000
	土浦地区収集運搬委託料※	163,672
	新治地区収集運搬委託料	6,040
需用費	集積場看板作成他	4,891
合計		297,603

※土浦地区の収集運搬委託料は、可燃・生ごみ・プラスチック製容器包装分別収集を併せて長期継続契約（5年）で契約済みです。

5年間総額 2,058,242,400円
 → 年間 411,648,480円
 うち、生ごみ分 163,671,435円

【期待される効果】

生ごみ分別収集の実施拡大により、更なるごみの減量化及び再資源化が図られます。



款	衛生費	項	清掃費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	汚泥再生処理センター整備事業							
施策の大綱	人と環境にやさしい循環型社会づくり							
予算額	財源内訳				予算の概要			
	国県支出金	地方債	その他	一般財源	・委託料 4,000			
4,000				4,000				

【事業の目的】

老朽化した衛生センターを、現在処理しているし尿や浄化槽汚泥に加え、有機性廃棄物（農業集落排水施設汚泥）を併せて処理できるよう、汚泥再生処理センターとして建て替えます。

【事業の概要】

平成27年度は、循環型社会形成推進交付金を活用するため、循環型社会形成推進地域計画を策定し、合わせて、し尿や汚泥の処理方法等の基本方針を定める生活排水処理基本計画を策定します。

(単位：千円)

区分	概要	事業費
委託料	計画策定委託料	4,000

◎今後の整備スケジュール

工種	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
測量、地質照査	←→			
環境影響調査	←→			
施設整備基本計画	←→			
基本実施設計	←→			
建設工事		←→		

※平成28年度から、循環型社会形成推進交付金を活用します。



現在の衛生センター

【期待される効果】

し尿や浄化槽汚泥のみならず、その他の有機性廃棄物を含めて再生利用することで循環型社会形成の推進を図ります。

款	衛生費	項	清掃費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
---	-----	---	-----	------	----	----	----	---------

事業名	ごみ焼却施設整備事業						
施策の大綱	人と環境にやさしい循環型社会づくり						
予算額	財源内訳				予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源			
64,022	11,292	37,900		14,830	・工事請負費	63,642	
					・委託料	280	
					・旅費	100	

【事業の目的】

平成4年4月施設稼働後23年を経過し、経年劣化による機能の低下が見受けられる清掃センター（ごみ焼却施設及び粗大ごみ処理施設）について、土浦市清掃センター長寿命化計画（平成22年度策定）に基づき基幹的施設の更新工事を行い、平成48年度までの延命化を図ります。また、老朽化した設備・機器類の更新を行い、健全な施設運営を図ります。

【事業の概要】

◎清掃センター基幹的施設更新事業（平成24～30年度）全体事業費 5,836,113千円
 （単位：千円）

区分	概要	事業費
工事請負費	基幹的施設更新工事 （ごみ焼却施設，粗大ごみ処理施設）	57,150
委託料	工事監理委託	280
需用費	旅費	100
合計		57,530

スケジュール

項目	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
実施設計	←→			
工事		←	→	→

※本事業は、循環型社会形成推進交付金（交付要件：温室効果ガス削減率3%以上の改良事業）を活用します。

◎ごみクレーンバケット更新工事 6,492 千円

【期待される効果】

基幹的施設の更新及び設備・機器類の定期的な更新により、施設の延命化を図り、安全で安定的な処理の継続に寄与します。また、温室効果ガスの3%以上の削減が図られます。



清掃センター

款	衛生費	項	環境保全対策費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	地球温暖化対策推進事業							
施策の大綱	人と環境にやさしい循環型社会づくり							
予算額	財源内訳					予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
18,320	1,500			16,820	・負担金補助及び交付金	12,200	・備品購入費	3,600
					・工事請負費	1,420	・需用費等	1,100

【事業の目的】

地球温暖化防止行動計画に基づき、市内区域から排出される温室効果ガスの削減に向け、市民・事業者・行政各主体の継続的な施策の推進を図ります。

【事業の概要】

住宅用の太陽光発電システム及び高効率給湯機器等の導入に対し、補助を行います。また、平成26年度に見直しを行った土浦市地球温暖化防止行動計画について、あらゆる機会を通じて啓発活動を実施するとともに、市役所の率先行動として、公共施設における太陽熱温水器の導入及び空調設備の高効率化を行います。

(単価：千円)

区分	事業費	概要
住宅用環境配慮型設備導入補助事業	12,200	太陽光発電補助 9,000
		高効率給湯器等補助 3,200
太陽熱温水器設置事業	1,420	神立消防署へ設置
地球温暖化防止行動計画見直し事業	1,100	計画書及び概要版の印刷製本
省エネ法対策事業	3,600	竹ノ入保育所のエアコン改修
合計	18,320	



太陽光発電システム設置例

【期待される効果】

住宅用環境配慮型設備導入補助事業及び公共施設における再生可能エネルギー導入や省エネ改修等の率先行動により、市民・事業者の積極的な行動と温室効果ガス削減に寄与します。

款	衛生費	項	環境保全対策費	事業区分	新規	拡大	継続	(単位：千円)
事業名	自然環境調査事業							
施策の大綱	人と環境にやさしい循環型社会づくり							
予算額	財源内訳					予算の概要		
	国県支出金	地方債	その他	一般財源				
1,900				1,900	・委託料 ・需用費			1,891 9

【事業の目的】

第二期土浦市環境基本計画の基本目標1（自然環境）の行動方針「豊かな自然に命を育む生物と共生しよう」に基づき、市内の生物の生息状況の現状把握を行うとともに、前回調査（平成14～15年）から10年が経過した自然環境実態調査との比較調査を行います。

【事業の概要】

前回調査は合併前で新治地区が未調査のため、新治地区を含めた市内全域を各中学校地区ごとに年次計画で調査を行います。また、調査の結果から環境副教材及び環境マップを作成し、自然観察会のルートを検討します。

◎調査方法

調査員	各地区のチャレンジクラブ及び各地区の環境基本計画推進協議会の委員
調査時期	春・秋（年2回）
調査指標生物	カエル，トンボ，貝，水生植物
調査年次	平成26年度・・・二中地区，四中地区（調査済み） 平成27年度・・・五中地区，六中地区，都和中地区 平成28年度・・・一中地区，三中地区，新治地区



四中地区での調査の様子



二中地区での調査の様子

【期待される効果】

前回調査時からの自然環境の変化が把握でき、環境学習を行いながらの調査とすることで、自然環境保全の啓蒙及び推進に寄与します。また、作成した環境マップを環境教育と環境学習の教材として活用されることが期待されます。